

岡山発“世界標準の紅茶”

« 岡山の魅力発信 »

株式会社 アーリーモーニング (岡山県新見市大佐小阪部2239-8)

TEL : 0867-98-3939 / URL : <https://www.earlymorning.co.jp/>



HPはこちら▶



令和8年1月22日現在

経営概要

経営面積

茶園（成園）2ha（10,000本植栽） 収穫量約3トン/年

主な業務

紅茶農園・紅茶専門店（紅茶カフェ経営）

労働力

代表取締役 宮本 英治 従業員3名（繁忙期はパート雇用）

取組の経緯

紅茶で生計を立てようと地方公務員から紅茶専門家の道へトライ。紅茶の勉強のため、先ずは土に触れなければとの想いから、インドのダージリン地方と酷似した気象条件の新見市に移住。平成17年から茶樹（べにふうき）の栽培を始め、令和7年10月に自社の紅茶ブランド「EIJI MIYAMOTO」を商標登録。

取組内容

茶樹栽培の状況

収穫は春から秋にかけて手摘みと機械摘みを併用して行う。（手摘みの茶葉は、ブランドの上位品（No.1からNo.3）に使用）販路拡大に向けて、平成30年度に5,000本の苗を新植し、現在2haの茶園で栽培。

製茶加工

主にインドやスリランカから紅茶製造に必要な機械を導入。製造工程は海外とほぼ同じで、発酵時間等は、手触りや香りなどを入念にチェックし、自らの経験で判断していく。自社の紅茶ブランドは、No.1からNo.7の7種類あり、茶葉は収穫期の違いにより四季折々の味わいを持ち、世界でも認められる日本産紅茶に仕上がっている。

販売先

天満屋、JR西日本などのほか、インターネットでの販売に加え、近年では、各種企業とコラボしたオリジナル商品を製造・販売する取組が増加。6次産業化発表会で知り合ったバイヤーを通じて東インド会社と繋がりの下、ロンドン各店舗の店長を集めた試飲会では、「ダージリンよりダージリンらしい」と高評価を得た。

今後の展望

- ◆紅茶は世界中で飲まれ、誰もが知っている飲み物であり、ごまかしが効かない。自社の紅茶ブランド「EIJI MIYAMOTO」を“世界標準の紅茶”へ導き、いずれはイギリス大使館での常用紅茶になることが目標。
- ◆地元で愛される紅茶、日本で愛される紅茶、世界で愛される紅茶を目指し、今後多くの方々に紅茶に興味を持っていただく取組を広げていく。



宮本 英治 氏



「EIJI MIYAMOTO」の紅茶商品



紅茶カフェからの景色